

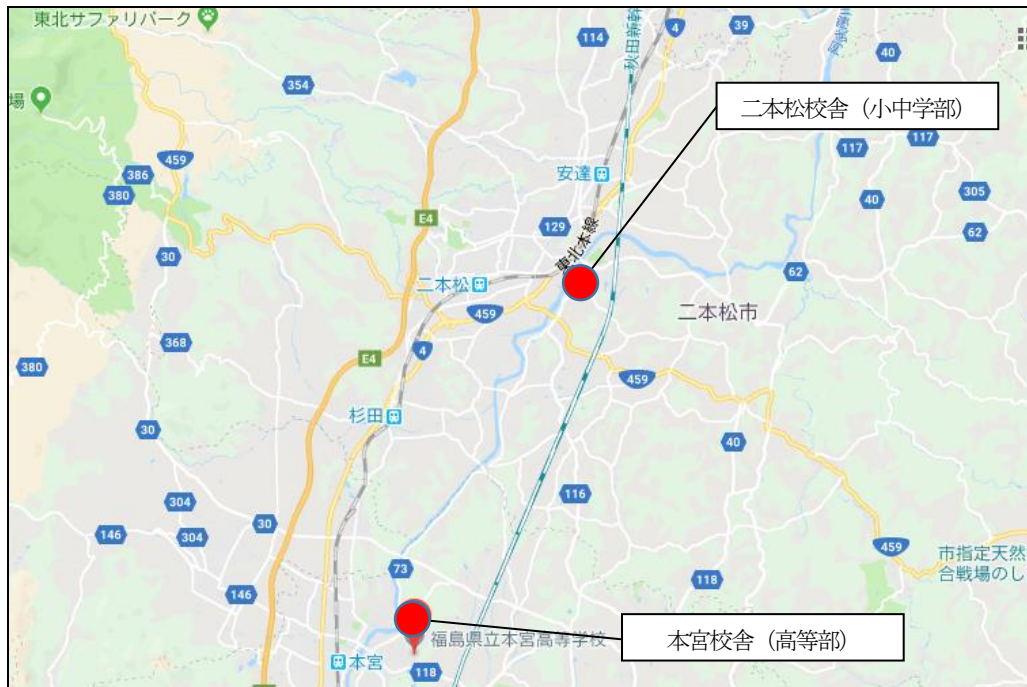
別記1

## 業 務 概 要 書

### 1 業務概要

- (1) 業務名 安達地区特別支援学校整備基本・実施設計委託
- (2) 業務箇所 二本松市安達ヶ原1丁目 地内外
- (3) 業務箇所に関する管内 県北建設事務所管内

#### 【位置図】



### (4) 業務内容

- ① 種 別 建築設計
- ② 業務内容 特別支援学校新築工事等の建築設計  
〈計画規模〉
  - ・二本松校舎 (小中学部) 校舎及び屋内運動場新築 A=5,610 m<sup>2</sup>
  - ・本宮校舎 (高等部) 実習棟の増築 A=959 m<sup>2</sup>  
既存校舎の改修等 A=518 m<sup>2</sup>  
解体 N=3 棟 外
- ③ 工期 (予定) 令和4年3月～令和5年3月31日限り

## 2 業務の背景・目的・課題等

### (1) 業務の背景

現在、安達地区（二本松市、本宮市及び大玉村）には特別支援学校がなく、特別支援学校での学びを必要とする児童生徒は、遠方の他地区にある学校への通学又は地区内小中学校の特別支援学級で学んでいる状況にあり、また、特別支援教育に関して生じている問題について、小中学校や関係機関等からその対応や解決を求められており、本地区内における一貫した特別支援教育の支援や体制構築が必要となっている。

### (2) 業務の目的

遠距離通学に伴う児童生徒や保護者の負担軽減、児童生徒の一人一人の発達段階や特性に応じた教育、及び当該地区におけるセンター的機能を発揮するため、安達地区内に新たな特別支援学校を整備するものである。

### (3) 業務の課題

- 旧建設技術学院跡地である二本松校舎の建設地は、特別支援学校を整備するにあり、余裕がある広さではなく、がけ地に接するなど、恵まれた設計条件ではないため、計画に工夫を要する。
- 本宮校舎は既設高校（本宮高校）の校舎の一部を改修し使用するため、当該校生徒と高校生が共に学校生活を送る上での計画上の配慮が求められる。
- 安達地区の特別支援教育の拠点として、子育て支援や就学前などの相談研修を行う地域のセンター的機能が発揮できる施設整備が求められる。
- 個々の障がいの状態や発達の段階に合わせた多様な指導形態が必要となるなど、特別支援学校特有の条件があり、安全性及び快適性を確保した上で、これらの課題解決に向けた工夫が求められる。
- 学校施設においてもエネルギー消費コストの低減や自然環境への配慮が必要であり、建設費や維持管理費の低減を図った計画が求められる。

## 3 評価テーマ

- (1) がけ地や狭小敷地に配慮し、かつ周辺環境との調和を考慮した具体的な提案（二本松校舎）
- (2) 地域に開かれた特別支援学校として、良好な教育環境の向上に資する具体的な提案（二本松校舎）
- (3) 当該校の児童生徒が高校生と交流し、相互理解を深めながらゆとりある良好な教育環境の確保に資する具体的な提案（本宮校舎）
- (4) 学校施設の長寿命化を図るため、ライフサイクルコストの低減や維持管理の容易性を考慮した良好な教育環境の確保に資する具体的な提案（共通）
- (5) 異なる建設地の設計を同時進行かつ遅滞なく実施できる具体的な提案（共通）
- (6) その他有効な着眼点、有効な提案及び対策（共通）